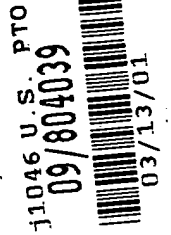


IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:)	
)	
Hidefumi YOSHIDA)	
)	Group Art Unit: Unassigned
Serial No.: To be assigned)	
)	Examiner: Unassigned
Filed: March 12, 2001)	
)	
For: APPARATUS AND METHOD)	
FOR SUPPORTING)	
TRANSACTION)	



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231*

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant submits herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-288204

Filed: September 22, 2000

It is respectfully requested that the applicant be given the benefit of the foreign filing date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

Date: March 12, 2001

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J1046 U.S. PTO
09/804039
03/13/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 9月22日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-288204

出 願 人

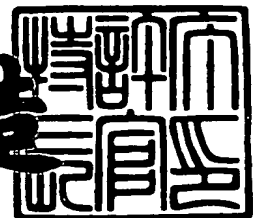
Applicant (s):

富士通株式会社

2001年 1月19日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3112239

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000698

【提出日】 平成12年 9月22日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明の名称】 取引支援装置および取引支援方法

【請求項の数】 8

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

 【氏名】 吉田 秀史

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100092152

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 服部 毅巖

 【電話番号】 0426-45-6644

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 009874

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9705176

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 取引支援装置および取引支援方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 取引の代金の支払いを支援する取引支援装置において、
取引の内容を登録する取引内容登録手段と、
買い手に対して代金の振り込みに係る情報を通知する振り込み情報通知手段と

前記振り込みに係る情報によって指定された振り込み先に代金が所定の期限内
に振り込まれたか否かを確認する代金振り込み確認手段と、

前記代金振り込み確認手段によって所定の期限内に代金の振り込みが無かった
ことが確認された場合には、決済カードを介して代金の引き落としを行う代金引
き落とし手段と、

を有することを特徴とする取引支援装置。

【請求項 2】 前記代金振り込み確認手段によって所定の期限内に代金の振
り込みが無かったことが確認された場合には、前記買い手に対して代金の支払い
を督促するメッセージを送信する督促メッセージ送信手段を更に有し、

前記代金引き落とし手段は、前記督促メッセージ送信手段によって送信された
督促メッセージに記載された所定の期限が経過した場合に、前記決済カードを介
して前記代金を引き落とすことを特徴とする請求項 1 記載の取引支援装置。

【請求項 3】 前記買い手から代金の徴収を行った後に、所定の手数料を減
額した一定額を、売り手に対して送金する送金手段を更に有することを特徴とす
る請求項 1 記載の取引支援装置。

【請求項 4】 前記決済カードを介して代金を引き落とす際に必要なカード
情報を入力するカード情報入力手段を更に有し、

前記カード情報は、初回の取引時において、前記取引に係る商品を宅配する業
者が買い手から直接入手した情報であることを特徴とする請求項 1 記載の取引支
援装置。

【請求項 5】 前記買い手の口座から代金を引き落とす口座引き落とし手段
を更に有し、

前記代金引き落とし手段は、前記代金振り込み確認手段によって前記口座に代金分の残高が存在しないことが確認された場合に、前記決済カードを介して代金の引き落としを行うことを特徴とする請求項 1 記載の取引支援装置。

【請求項 6】 宅配業者に対する商品の宅配依頼と、前記買い手の情報を通知する宅配情報送信手段を更に有し、前記買い手の情報は、宅配先の住所を含むことを特徴とする請求項 1 記載の取引支援装置。

【請求項 7】 取引の代金の支払いを支援する取引支援方法において、
取引の内容を登録する取引内容登録ステップと、
買い手に対して代金の振り込みに係る情報を通知する振り込み情報通知ステップと、

前記振り込みに係る情報によって指定された振り込み先に代金が所定の期限内に振り込まれたか否かを確認する代金振り込み確認ステップと、

前記代金振り込み確認ステップによって所定の期限内に代金の振り込みが無かったことが確認された場合には、決済カードを介して代金の引き落としを行う代金引き落としステップと、

を有することを特徴とする取引支援方法。

【請求項 8】 取引の代金の支払いを支援する機能をコンピュータに機能させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、
コンピュータを、

取引の内容を登録する取引内容登録手段、

買い手に対して代金の振り込みに係る情報を通知する振り込み情報通知手段、

前記振り込みに係る情報によって指定された振り込み先に代金が所定の期限内に振り込まれたか否かを確認する代金振り込み確認手段、

前記代金振り込み確認手段によって所定の期限内に代金の振り込みが無かったことが確認された場合には、決済カードを介して代金の引き落としを行う代金引き落とし手段、

として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は取引支援装置および取引支援方法に関し、特に、取引の代金の支払いの支援を行う取引支援装置および取引支援方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来技術】

近年、インターネットの普及により、一般消費者もインターネットショッピングへの参加の機会が増加しつつある。

【0 0 0 3】

ところで、このようなインターネットショッピングによって商品を購入した場合における代金の支払い方法としては、大きく分けて、（１）銀行振り込み、（２）商品と引き換えでの現金の支払い（代引き）、（３）クレジットカード等の決済カードによる決済、（４）コンビニエンスストアでの受け取りがある。

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、これらの決済方法は、何れも以下のような問題点を有している。

（１）銀行振り込み：インターネットでは、代金を先に支払うことが原則であるので、商品が手許に届いていない状態で、未知の業者に送金する必要があり、買い手にとって負担が大きいという問題点があった。

（２）代引き：宅配業者が代金の支払い処理を行うため、手数料が高いという問題点があった。

（３）決済カード：決済カードは、ホームページ上でカード番号等を入力することにより簡単に決済を行うことができる反面、個人の情報が漏洩するおそれがあるという問題点があった。また、銀行振り込み等に比較して、手数料が高いという問題点もあった。

（４）コンビニエンスストア：商品を最寄りの店舗まで取りに出向く必要があるため、特に、商品が重い場合や嵩張る場合には、買い手の負担が大きいという問題点があった。

【0 0 0 5】

このように、従来の決済方法は、種々の問題点を有していた。

本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、インターネット等の取引において代金の支払いを簡易にしかも安全に行うことが可能な取引支援装置および取引支援方法を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明では上記課題を解決するために、図1に示す、取引の代金の支払いを支援する取引支援装置1において、取引の内容を登録する取引内容登録手段1aと、買い手に対して代金の振込みに係る情報を通知する振り込み情報通知手段1bと、前記振り込みに係る情報によって指定された振り込み先に代金が所定の期限内に振り込まれたか否かを確認する代金振り込み確認手段1cと、前記代金振り込み確認手段1cによって所定の期限内に代金の振込みが無かったことが確認された場合には、決済カードを介して代金の引き落としを行う代金引き落とし手段1dと、を有することを特徴とする取引支援装置1が提供される。

【0007】

ここで、取引内容登録手段1aは、取引の内容を登録する。振り込み情報通知手段1bは、買い手に対して代金の振込みに係る情報を通知する。代金振り込み確認手段1cは、振り込みに係る情報によって指定された振り込み先に代金が所定の期限内に振り込まれたか否かを確認する。代金引き落とし手段1dは、代金振り込み確認手段1cによって所定の期限内に代金の振込みが無かったことが確認された場合には、決済カードを介して代金の引き落としを行う。

【0008】

以下、取引支援装置1を運用、提供する者を「仲介者」と適宜称する。

【0009】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

図1は、本発明に係る取引支援装置の動作原理を説明する原理図である。この図に示すように、取引支援装置1は、ネットワーク2を介して、売り手のサーバ3および買い手のクライアント4と接続されている。また、ネットワーク5を介

して銀行のサーバ6および決済カード会社のサーバ7に接続されている。

【0010】

取引支援装置1は、取引内容登録手段1a、振り込み情報通知手段1b、代金振り込み確認手段1c、および、代金引き落とし手段1dによって構成されている。

【0011】

ここで、取引内容登録手段1aは、成立した取引の内容を登録する。

振り込み情報通知手段1bは、買い手に対して代金の振り込みに係る情報を通知する。

【0012】

代金振り込み確認手段1cは、振り込み情報によって指定された振り込み先に代金の振り込みが所定の期限内にあったか否かを確認する。

代金引き落とし手段1dは、代金振り込み確認手段1cによって所定の期限内に代金の振り込みが無かったことが確認された場合には、決済カードを介して代金の引き落としを行う。

【0013】

次に、以上の原理図の動作について説明する。

いま、買い手がクライアント4を操作し、売り手のサーバ3にアクセスして商品を購入する手続きを行ったとする。そして、商品の支払い方法として、取引支援装置1を仲介した支払いを選択したとする。

【0014】

すると、売り手と買い手の間で成立した取引の内容は、売り手のサーバ3から取引支援装置1に対して送信される。

取引支援装置1では、取引内容登録手段1aが取引内容を受信して登録する。

【0015】

続いて、振り込み情報通知手段1bは、取引内容を参照して、振り込み先の口座、振り込み期限等からなる振り込み情報を生成し、買い手のクライアント4に対して電子メール等によって配信する。

【0016】

振り込み情報を受け取った買い手は、受信した電子メールより振り込み先、振り込み期限等を知ることになる。そして、この条件に同意した場合には、取引支援装置 1 に対してアクセスし、所定のホームページ等において同意した旨を表明する。すると、売り手に対して、買い手の同意が得られた旨が通知され、売り手は買い手に対して商品を発送する。適宜、この時点において仲介者は仲介手数料を売り手あるいは買い手から徴収することもできる。

【 0 0 1 7 】

代金振り込み確認手段 1 c は、定期的に銀行のサーバ 6 にアクセスして、買い手が代金の支払いを行ったか否かをチェックしており、振り込み期限までに支払いがなされた場合には、銀行のサーバ 6 に対して再度アクセスし、支払われた金額から自己あるいは仲介者の手数料分を差し引いた金額を、売り手の口座に対して送金する。

【 0 0 1 8 】

上記説明においては、振り込み先口座の管理者は仲介者であったが、振り込み先口座としては売り手の口座とすることも可能である。この場合には、売り手から仲介者に対して振り込みの有無を通知する、あるいは仲介者が、売り手の口座への振り込みを監視する必要がある。また仲介者の手数料としては、仲介が成立した時点で売り主に対して請求することも可能である。勿論月毎に集計する等の手法も利用可能であることは言うまでもない。

【 0 0 1 9 】

また、振り込み期限までに支払いが完了していない場合には、買い手のクライアント 4 に対して、例えば、督促状、あるいは督促のメール、あるいは督促の電子メールを送付する。そして、それでも代金の振り込みがなされない場合には、代金引き落とし手段 1 d が、決済カード会社のサーバ 7 に対してアクセスし、売り手あるいは仲介者あるいは且つ買い手の名義で取引内容を通知し、代金（クレジットカード会社に対する手数料を含む）を引き落とす。そして、銀行のサーバ 6 に対してアクセスし、自己あるいは仲介者の手数料分を差し引いた金額を、売り手の口座に対して送金する。

【 0 0 2 0 】

このような方法によれば、買い手が取引支援装置 1 を利用した支払いを選択した場合には、決済カードをいわば担保にすることにより、商品を直ちに買い手に対して送付することが可能となる。また、買い手は、商品が届いた後に、料金の安い銀行振り込みにより代金を支払うことが可能となる。更に、買い手が支払いを行わない場合には、決済カードから引き落としがなされるので、売り手は代金を確実に回収することが可能となる。

【0021】

次に、本発明の実施の形態について説明する。

図 2 は、本発明の実施の形態の構成例を示す図である。この図に示すように、取引支援装置 10 は、ネットワーク 11 を介して、売り手のサーバ 12、宅配業者のサーバ 13、および、買い手のクライアント 14 に接続されている。また、ネットワーク 17 を介して、銀行のサーバ 15 および決済カード会社のサーバ 16 に接続されている。

【0022】

ここで、取引支援装置 10 は、CPU (Central Processing Unit) 10a、ROM (Read Only Memory) 10b、RAM (Random Access Memory) 10c、HDD (Hard Disk Drive) 10d、I/F (Interface) 10e、10f によって構成されている。

【0023】

CPU 10a は、HDD 10d に格納されているプログラムに従って各種演算処理を実行するとともに、装置の各部を制御する。

ROM 10b は、CPU 10a が実行する基本的なプログラムやデータを格納している。

【0024】

RAM 10c は、CPU 10a の実行対象となるプログラムや、演算途中のデータを一時的に格納する。

HDD 10d は、CPU 10a が実行するプログラムを格納するとともに、取引に関する情報を格納する。

【0025】

I/F 1 0 e は、ネットワーク 1 1 を介して売り手のサーバ 1 2、宅配業者のサーバ 1 3、または、買い手のクライアント 4 との間で情報を授受する際に、プロトコルやデータ変換を行う。

【 0 0 2 6 】

I/F 1 0 f は、ネットワーク 1 7 を介して銀行のサーバ 1 5 または決済カード会社のサーバ 1 6 との間で情報を授受する際に、プロトコルやデータ変換を行う。

【 0 0 2 7 】

なお、ネットワーク 1 1 は、例えば、インターネットであり、ネットワーク 1 7 は、例えば、インターネットあるいは専用回線である。また、売り手のサーバ 1 2、宅配業者のサーバ 1 3、銀行のサーバ 1 5、および、決済カード会社のサーバ 1 6 は、例えば、ワークステーションやサーバマシンによって構成されている。更に、買い手のクライアント 1 4 は、例えば、パーソナルコンピュータによって構成されている。

【 0 0 2 8 】

次に、以上の実施の形態の動作について説明する。

ユーザが、買い手のクライアント 1 4 を操作することにより、売り手のサーバ 1 2 に開設されているショッピングページにアクセスし、所定の商品を購入する操作を行ったとすると、買い手のクライアント 1 4 の表示装置には、図 3 に示すような支払い画面 2 0 が表示されることになる。この表示例では、領域 2 0 a に示すように、「銀行振り込み」、「代金引換」、「仲介支払い」の何れかを支払い方法として選択することが可能とされている。このような画面 2 0 上において、ユーザ（買い手）が、取引支援装置 1 0 を利用して代金を支払う「仲介支払い」を選択し、OK ボタン 2 0 b を操作したとすると、取引の内容（商品、金額、および、買い手のメールアドレス等）が取引支援装置 1 0 に対して送信される。

【 0 0 2 9 】

取引支援装置 1 0 は、このような取引内容を I/F 1 0 e を介して受信し、識別番号としての取引番号を生成して、これらに関連付けて HDD 1 0 d の所定の領域に格納する。そして、買い手に対して図 4 に示すような電子メールを作成し

て送信する。

【0030】

なお、この電子メールでは、取引支援装置10の所有者である「The Chuhkai Co. Ltd.」のサービスを利用したことに対する謝辞と、取引に関する情報とが記載されている。取引に関する情報としては、先に生成された取引番号(2000-08-20-0001)、売り手の名称(〇×パソコン(株))、取引対象の商品名(デジタルビデオカメラDV10、パーソナルコンピュータPC20)と支払い金額(¥369,600)が表示されている。

【0031】

そして、取引の条件が正しい場合には、URL「http://www.chuhkai.com/touroku/」をクリックし、また、正しくない場合にはURL「http://www.chuhkai.com/kaijo/」をクリックするように促すメッセージが表示されている。

【0032】

取引の内容が正しい場合には、買い手は、URL「http://www.chuhkai.com/touroku/」をクリックする。すると、買い手のクライアント14においてブラウザが起動され、前述のURLにアクセスすることになる。なお、このURLは、取引支援装置10上に開設されたホームページを指示するものであり、ページがダウンロードされると、買い手のクライアント14には図5に示すような画面30が表示される。

【0033】

この表示例では、取引番号とパスワードとを入力するように促すメッセージと、これらを入力するためのテキストボックス30a, 30bが表示されている。このような画面30において、先に電子メールで通知された取引番号(2000-08-20-0001)と、パスワード(SDFJOJ12)とを入力し、OKボタン30cが操作されると、取引支援装置10のCPU10aは、これらの情報を取得し、HDD10dに格納されている情報と照合することにより目的の情報(先に登録した取引内容)を特定する。ここでは、取引番号の打ち込みが不要となるようにURLを設定することも可能である。

【 0 0 3 4 】

続いて、取引支援装置 1 0 は、図 6 に示すような画面 4 0 を、買い手のクライアント 1 4 に表示させる。買い手は、自己が仲介サービスの会員である場合にはラジオボタン 4 0 a をクリックし、非会員である場合にはラジオボタン 4 0 b をクリックする。

【 0 0 3 5 】

例えば、買い手が非会員である場合には、ラジオボタン 4 0 b をクリックし、OK ボタン 4 0 c が操作される。すると、買い手のクライアント 1 4 の表示装置には、図 7 に示す画面 5 0 が表示されることになる。この表示例では、会員登録を行うために必要な事項を入力するためのテキストボックス 5 0 a ~ 5 0 e が表示されている。テキストボックス 5 0 a には、買い手の名前が入力される。テキストボックス 5 0 b には、買い手の住所が入力される。テキストボックス 5 0 c には、買い手の電話番号が入力される。また、テキストボックス 5 0 d には、使用する決済カード名が入力される。更にテキストボックス 5 0 e にはカード番号が入力される。ここで決済カードが無い場合には仲介は不可能であるためその旨が示される。但し、このような事は例えば図 3 にクレジットカードが必要であることを明記することにより防ぐことができる。

【 0 0 3 6 】

このような画面 5 0 において、必要事項が入力され、OK ボタン 5 0 f が操作されると、CPU 1 0 a は、入力された事項を取得し、HDD 1 0 d に新規会員として登録する。

【 0 0 3 7 】

登録が完了すると、取引支援装置 1 0 は、図 8 に示すような画面 6 0 を、買い手のクライアント 1 4 に表示させる。この表示例では、登録が完了した旨と、商品の配送時において決済カードによる認証を行う旨と、二回目以降の取引では決済カードによる認証は不要である旨が示されている。買い手は、このような画面 6 0 を参照することにより、商品の引き受け時に決済カードの提示が必要であることを知ることになる。

【 0 0 3 8 】

次に、取引支援装置 1 0 は、売り手のサーバ 1 2 に対して、取引の内容の承認と、会員登録とが正常に終了した旨を通知する。その結果、売り手のサーバ 1 2 は、取引支援装置 1 0 に対して、発送予定日を通知する。

【 0 0 3 9 】

続いて、取引支援装置 1 0 は、図 9 に示すような電子メールを作成し、買い手のクライアント 1 4 に対して送信する。この電子メールには、商品の発送予定日と、代金の振り込み期限と、振り込み口座名と、期限内に振り込まれない場合には決済カードからの引き落としになる旨が記載されている。

【 0 0 4 0 】

続いて、取引支援装置 1 0 は、宅配業者のサーバ 1 3 に対して、商品の宅配の依頼と、決済カードの認証の依頼を行う。このとき、取引支援装置 1 0 は、買い手に関する情報も併せて送信する。このようにして送信された買い手に関する情報は、宅配業者のサーバ 1 3 を経由して、配達員が有する端末装置に対して送信され、例えば、図 1 0 に示すような画面が表示されることになる。

【 0 0 4 1 】

この表示例では、配達先情報として、買い手の氏名（江戸川太一）、住所（東京都新宿区西新宿 1 - 1 ）、支払い方法（C h u h k a i ）、および、初回なので決済カード（X - C A R D ）の認証が必要であり、その際に必要な会員番号は「 6 5 4 3 2 1 」であることが示されている。また、画面の下半分には、配達先を示す地図が示されている。

【 0 0 4 2 】

宅配業者の配達員は、このような情報を参照して配送を迅速に行うことが可能となるとともに、本人か否かを認証する際に、表示された情報を参照して認証を確実に行うことができる。なお、配達員は、認証の際に、決済カードのカード番号を買い手から聞き出してあるいは入手して端末装置に入力する。入力されたカード番号は、端末装置において暗号化され、宅配業者のサーバ 1 3 に送信される。カード番号を受信した宅配業者のサーバ 1 3 は、受信した情報を取引支援装置 1 0 に対して転送する。取引支援装置 1 0 は、受信したカード番号の暗号化を解除し、この買い手の会員情報に関連付けて登録する。なお、初回の配達時には、

カード番号を買い手から聞き出す等の手続きが必要であり、信用がおける業者である必要があるので、初回の配達は特定の業者に委託する。それ以降は、配送地域や配送料金に応じて有利な業者を使い分けることも可能である。

【 0 0 4 3 】

図 9 に示す電子メールにも記載されているように、商品を受け取った買い手は、指定された期間、例えば 1 週間以内に代金を指定された銀行口座に振り込む必要がある。指定された期間内に代金の振り込みがなされた場合には、取引支援装置 1 0 は、銀行のサーバ 1 5 に対して周期的にアクセスしているのでこれを検知し、支払いが終了したことを了知する。そして、銀行のサーバ 1 5 に対して再度アクセスし、振り込まれた代金から、自己の手数料を減じた金額を、売り手の口座に対して振り込むことになる。

【 0 0 4 4 】

なお、指定の期限内に振り込みがなされなかった場合には、取引支援装置 1 0 は、図 1 1 に示すような督促状を作成し、買い手に対して送信する。この図の例では、商品の代金が未納であり、早急に対応しない場合には、決済カードからの引き落としになるので、手数料が上乗せされる旨が示されている。

【 0 0 4 5 】

このような督促状を受けた買い手が、所定の期限内に代金を指定された銀行口座に振り込んだ場合には、前述の場合と同様の処理が実行され、代金の支払いが終了する。

【 0 0 4 6 】

一方、督促状の送付にも拘わらず、買い手が代金を支払わない場合には、取引支援装置 1 0 は、決済カード会社のサーバ 1 6 にアクセスし、売り手あるいは仲介者あるいは且つ買い手の名義で取引内容を通知し、代金の引き落としを行う。なお、引き落としに先立って、引き落としを実行する旨の通知を電子メール、電話、または、手紙等で行うようにしてもよい。

【 0 0 4 7 】

以上の処理によれば、取引支援装置 1 0 による代金の支払いを初めて行う場合には、宅配業者が本人か否かの認証を行うとともに、決済カードのカード番号を

直接問い合わせるようにしたので、買い手にとっては商品が到着後に代金の支払いをすることができるとともにカード番号を未知の業者に通知する必要がないので、取引の安全を図ることができる。一方、売り手にとっては、宅配業者によって本人か否かの認証後に商品の受け渡しがなされるとともに、決済カードをいわば担保にすることができるので、買い手同様に取引の安全を向上させることができる。

【 0 0 4 8 】

以上は、取引支援装置 1 0 による代金の支払いを初めて行う場合の説明であるが、二回目以降は、以下のような処理が実行されることになる。なお、初回の処理と重複する説明は、適宜省略する。

【 0 0 4 9 】

取引支援装置 1 0 を二回目以降に利用する場合、図 3 ～ 図 5 の処理は、初回の場合と同様である。

図 6 においては、初回の利用において会員登録が既に行われているので、会員であることを示すラジオボタン 4 0 a が選択され、OK ボタン 4 0 c が押圧されることになる。

【 0 0 5 0 】

すると、買い手のクライアント 1 4 には、図 1 2 に示す画面 7 0 が表示されることになる。この画面 7 0 では、買い手の会員番号と、パスワードをそれぞれ入力するためのテキストボックス 7 0 a, 7 0 b が表示されている。なお、会員番号およびパスワードは、例えば、取引支援装置 1 0 が自動的に発生し、電子メールや手紙等により買い手に通知する。

【 0 0 5 1 】

図 1 3 は、このとき買い手のクライアント 1 4 に表示される画面の一例である。この例では、会員登録が終了した旨と、ファイル保存ボタン 7 5 a を操作することにより会員番号とパスワードとを保存できる旨を示すメッセージが表示されている。このような画面 7 5 においてファイル保存ボタン 7 5 a が操作された場合には、会員番号とパスワードとが任意の場所に保存され、OK ボタン 7 5 b が操作された場合には保存せずに終了する。

【0052】

図12に示す画面70において、買い手が自己の会員番号とパスワードとを入力し、OKボタン70cを操作したとすると、買い手のクライアント14はこれらを暗号化して取引支援装置10に送信する。取引支援装置10では、これらの情報を受信して暗号化を解除した後、HDD10dに格納されている情報と照合することにより、パスワード等が正しいか否かを判定し、正しい場合には確認ができたとして、図14に示す画面80を買い手のクライアント14に向けて送信する。その結果、買い手は、取引支援装置10による仲介の手続きが完了したことを知ることになる。

【0053】

それ以降の処理は、宅配業者による認証が行われない点を除き、初回の場合と同様である。

以上の処理によれば、取引支援装置10を二回目以降に利用する場合であって、取引支援装置10と提携している売り手から商品を購入する場合には、買い手は、自己の会員番号とパスワードのみを入力することにより、商品を即座に注文することができるので、カード番号等のような重要な個人情報を繰り返し入力するリスクを回避することができる。また、会員番号等が漏洩した場合であっても、配送先は、図10に示す地図で示される場所に限定されるので、これらの情報を悪意に取得した者が自己の利益を図る目的でこれらを利用することを防止できる。また、代金は指定の銀行口座に振り込むので、決済カードを使用した場合のように高額な手数料を請求されることもない。

【0054】

一方、売り手にとっては、カードをいわば担保にすることにより、代金が回収できないという事態を回避することが可能となる。

また、商品の値段としてもカード手数料を入れる必要がないため安く設定することができる。更に、カード会社に登録することができない新興の企業であってもカード決済の利便性を利用することができる。

【0055】

なお、以上の実施の形態では、初回の利用時においても、代金は銀行口座に振

り込むようにしたが、宅配業者に現金で支払うようにしてもよい。このようにすることで、認証と現金の支払いを同時に行うことができ、買い手の便宜を図ることが可能となる。

【0056】

また、以上の実施の形態では、会員登録時には、図7に示す画面50上において、買い手の住所を文字情報として入力するようにしたが、図10の場合と同様に、画面上に地図を表示し、地図上で自己の住所を指示するようにしてもよい。このような方法によれば、情報を悪用するためには地図上の位置情報と、地図情報の双方を入手しなければならないので、情報が漏洩する確率を減少させることができる。また、宅配業者にとっては、配達先のより詳細な位置を知ることができるといった利点もある。

【0057】

更に、以上の実施の形態では、代金は銀行口座に振り込むようにしたが、自己の口座から自動引き落としによって清算することも可能である。そのような場合には、買い手が銀行まで赴く手間を省略することができる。なお、自動引き落としを行うためには、自己の銀行口座に関する情報を取引支援装置10に通知する必要があるが、そのような方法としては、例えば、図7に示す画面50上において自己の口座名等を入力するか、あるいは、宅配業者に対して自己の口座名を通知するようにすればよい。

【0058】

更には、この自動引き落としについては、デビットカード決済を使用することも可能である。この場合にはデビットカード決済対応の口座を予め開設しておく必要が買い手に生じる。これについても仲介者が案内その他をできることは言うまでもない。

【0059】

以上において、振り込み手法については銀行振り込みとして記述したが、コンビニエンスストア、郵便局、現金書留等、売り手あるいは仲介者に対して所定の支払いを行う手段であればよいことは言うまでもない。

【0060】

上記実施例においては、仲介取引が選ばれ、非会員であった時に、図 7 に示すようにカード番号その他は登録せず、初回配達時に登録することとなっていたが、図 7 においてカード番号をも登録することも勿論可能である。この場合には、図 7 で初めて会員となった場合においても決済カード付属の買い手の情報を活用することが可能となる。即ち、図 1 の決済カード会社のサーバ 7 の情報を活用することとなる。

【0061】

そして、他の実施例として、配達先としては決済カードに登録の住所のみとすることをを行った。これについては、決済会社あるいは決済カード会社のサーバ 7 (図 1) と提携し、決済会社の登録住所と取引支援装置 10 での登録住所を比較対照できるように設定した。図 7 で決済カード番号を入力しない場合には、初回取引の配達時に決済カード番号を入手する。そして決済カードの登録住所と申請されていた (図 7) 登録住所とが異なる場合には仲介を中止することも可能である。図 7 で決済カード番号を入力する場合には、図 7 の時点で決済カードの登録住所と申請された登録住所とが異なる場合には仲介を中止することも可能である。決済カード登録の住所としては、発注者が発注した時点にて住所に対応する地図を表示することは、現在地図ソフトが DVD の普及と共に安易となっており、このシステムを採用した。また、発注者が発注した時点にて住所に対応する地図を表示し、正しい場所か、あるいは詳しい地点を Web 上で指定できるようにした。

【0062】

更に、他の実施例としては、取引支援装置 10 は取引者氏名、e-mail 番号を元に双方の調査を行い、互いの信用度をそれぞれに e-mail 等で知らせることを、図 4 の前あるいは後ろあるいは両方に行うこととした。買い手の信用度調査は決済会社の調査あるいは決済会社のサーバ 7 の情報を活用することが出来る。また、売り手の信用度調査としても決済会社の調査を活用できることは勿論、図 1 には明記されてはいないが、他の調査機関と連携した装置とすることも可能である。この場合、図 1 のネットワーク 5 に加えて、該他の調査機関のサーバの情報を使用することになる。

【0063】

配達先については、上記においてはカードあるいは会員登録の住所のみとしたが、会員登録され、取引が一回以上行われた場合には、会員は信用を持ったことになる。このため二回目以降の取引においては任意の住所への配達を可能とした。その場合には図15に示すように配達先住所入力画面77から必要項目を入力することにより任意の配達先を指定することができる。

【0064】

この図の例では、ラジオボタン77a、77bにより、会員登録住所又は登録以外住所を選択可能であり、登録以外住所が選択された場合には、テキストボックス77c～77eに記入された先に配達される。

【0065】

以上、決済カードと振り込み手段との連携を述べてきたが、買い手が決済カードを最初から使う場合においても、その仲介を行うことが可能であることは言うまでもない。

【0066】

次に、以上の機能を取引支援装置10に実現させるためのフローチャートについて説明する。

図16は、売り手において取引が成立し、取引内容が送信されてきた場合に、取引支援装置10で実行されるフローチャートである。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

[S1] CPU10aは、取引の仲介依頼があった否かを判定し、依頼があった場合にはステップS2に進み、それ以外の場合には処理を終了する。

【0067】

[S2] CPU10aは、依頼を行った売り手のサーバ12から取引内容を受信する。

[S3] CPU10aは、所定のルールに基づいてユニークな数列または文字列である取引番号を発生する。

【0068】

[S4] CPU10aは、取引内容と取引番号とを対応付けてHDD10dの

所定の領域に登録する。

【S 5】CPU 1 0 a は、売り手および買い手に対して取引の内容を確認するための内容確認メールを送信する。図 4 は、買い手に対して送信される内容確認メールの一例である。

【0 0 6 9】

図 1 7 は、内容確認メールに添付されている URL（通知された内容が正しい場合に対応する URL）がクリックされた場合に実行されるフローチャートである。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

【S 2 0】CPU 1 0 a は、図 5 に示す初期画面 3 0 を表示するための HTML（Hyper Text Markup Language）文書を、HDD 1 0 d から取得し、アクセスしてきた買い手のクライアント 1 4 に対して送信する。

【0 0 7 0】

【S 2 1】CPU 1 0 a は、買い手のクライアント 1 4 から送信されてきた取引番号とパスワードとを取得する。

【S 2 2】CPU 1 0 a は、HDD 1 0 d に格納されている情報を参照し、取引番号とパスワードとが正しいか否かを判定し、正しい場合にはステップ S 2 4 に進み、それ以外の場合にはステップ S 2 3 に進む。

【0 0 7 1】

なお、正しくない場合が所定の回数以上連続した場合には、処理を終了することにより、無限ループに陥ることを防ぐことが望ましい。

【S 2 3】CPU 1 0 a は、入力された取引番号またはパスワードが正しくないことを知らせるエラー画面を買い手のクライアント 1 4 に対して送信して表示させる。

【0 0 7 2】

【S 2 4】CPU 1 0 a は、会員または非会員の別を選択するための会員／非会員選択画面 4 0（図 6 参照）を買い手のクライアント 1 4 に対して送信する。

【S 2 5】CPU 1 0 a は、受信した情報を参照して会員であるか否かを判定し、会員である場合にはステップ S 2 6 に進み、それ以外の場合にはステップ S 3 0 に進む。

【0073】

〔S26〕CPU10aは、会員番号とパスワードを入力する会員番号入力画面70（図12参照）を、買い手のクライアント14に対して送信して表示させる。

〔S27〕CPU10aは、受信した会員番号とパスワードが正しいか否かを判定し、正しい場合にはステップS28に進み、それ以外の場合にはステップS29に進む。

【0074】

なお、正しくない場合が所定の回数以上連続した場合には、処理を終了することにより、無限ループに陥ることを防ぐことが望ましい。

〔S28〕CPU10aは、受け付けが完了したことを示す受け付け完了画面80（図14参照）を、買い手のクライアント14に対して送信し、表示させる。

【0075】

〔S29〕CPU10aは、入力された会員番号またはパスワードが正しくないことを知らせるエラー画面を買い手のクライアント14に対して送信して表示させる。

〔S30〕CPU10aは、会員登録を行うための会員登録画面50（図7参照）を買い手のクライアント14に対して送信する。

【0076】

〔S31〕CPU10aは、会員登録画面50において入力された情報を受信し、HDD10dの所定の領域に登録する。

〔S32〕CPU10aは、会員登録が完了したことを示す登録完了画面60（図8参照）を、買い手のクライアント14に対して送信する。

〔S33〕CPU10aは、振り込み口座と、振り込み期限とが記述された電子メール（図9参照）を作成し、買い手のクライアント14に対して送信する。

【0077】

図18は、取引支援装置10が宅配業者のサーバ13に対して、商品の宅配を依頼する場合に実行されるフローチャートである。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

〔S 4 0〕CPU 1 0 a は、買い手にとって今回の利用が初回であるか否かを判定し、初回である場合にはステップ S 4 1 に進み、それ以外の場合にはステップ S 4 2 に進む。

【0 0 7 8】

〔S 4 1〕CPU 1 0 a は、宅配業者のサーバ 1 3 に対して、決済カードの認証の委託を行うための所定のデータを送信する。

〔S 4 2〕CPU 1 0 a は、宅配業者のサーバ 1 3 に対して、買い手の住所を地図上の位置情報または文字情報によって通知する。

〔S 4 3〕CPU 1 0 a は、宅配業者のサーバ 1 3 に対して、商品の配送委託を行うための所定のデータを送信する。

【0 0 7 9】

図 1 9 は、初回の利用時において、宅配業者の配達員の端末装置から決済カードのカード番号が、宅配業者のサーバ 1 3 を経由して伝送されてきた場合に実行されるフローチャートである。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

〔S 5 0〕CPU 1 0 a は、配達員の端末装置において暗号化処理された決済カードのカード番号を取得する。

【0 0 8 0】

〔S 5 1〕CPU 1 0 a は、カード番号の暗号化を解除する。

〔S 5 2〕CPU 1 0 a は、HDD 1 0 d を検索して登録先を特定する。即ち、CPU 1 0 a は、カード番号に対応する個人の会員情報を HDD 1 0 d から特定する。

〔S 5 3〕CPU 1 0 a は、決済カードの番号を登録する。

【0 0 8 1】

図 2 0 は、取引支援装置 1 0 が買い手からの代金の支払を確認する場合に実行されるフローチャートである。このフローチャートが開始されると、以下の処理が実行される。

〔S 6 0〕CPU 1 0 a は、HDD 1 0 d に格納されている所定の取引内容を取得する。

【0082】

〔S61〕CPU10aは、銀行のサーバ15にアクセスし、取引内容に示されている所定の金額が、振り込み済みであるか否かを判定し、振り込み済みである場合にはステップS67に進み、それ以外の場合にはステップS62に進む。

〔S62〕CPU10aは、取引内容に示されている振り込み期限を参照して期限を徒過しているか否かを判定し、徒過している場合にはステップS63に進み、それ以外の場合にはステップS61に戻って同様の処理を繰り返す。

【0083】

〔S63〕CPU10aは、買い手に対して督促状（図11参照）を送信する。なお、このとき、新たな支払い期限が設定されるので、HDD10dに格納されている取引内容を更新する。

〔S64〕CPU10aは、銀行のサーバ15にアクセスし、取引内容に示されている所定の金額が、振り込まれたか否かを判定し、振り込まれた場合にはステップS67に進み、それ以外の場合にはステップS65に進む。

【0084】

〔S65〕CPU10aは、取引内容に示されている振り込み期限（ステップS63で更新された新たな期限）を参照して期限を徒過しているか否かを判定し、徒過している場合にはステップS66に進み、それ以外の場合にはステップS64に戻って同様の処理を繰り返す。

〔S66〕CPU10aは、決済カード会社のサーバ16に対してアクセスし、買い手の名義で代金を引き落とす。

〔S67〕CPU10aは、銀行のサーバ15にアクセスし、手数料を除く代金を売り手の口座に入金する。

【0085】

以上の処理によれば、図2を参照して説明した実施の形態が有する機能を実現することが可能となる。

なお、上記の機能は、コンピュータによって実現することができる。その場合、取引支援装置10が有すべき機能は、コンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録されたプログラムに記述されており、このプログラムをコンピュータで実

行することにより、上記処理がコンピュータで実現される。コンピュータで読み取り可能な記録媒体としては、磁気記録装置や半導体メモリ等がある。市場へ流通させる場合には、CD-ROM (Compact Disk Read Only Memory) やフロッピーディスク等の可搬型記録媒体にプログラムを格納して流通させたり、ネットワークを介して接続されたコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを通じて他のコンピュータに転送することもできる。コンピュータで実行する際には、コンピュータ内のハードディスク装置等にプログラムを格納しておき、メインメモリにロードして実行する。

【0086】

【発明の効果】

以上説明したように本発明では、取引の代金の支払いを支援する取引支援装置において、売り手のサーバから取引の内容を受信して登録するとともに、登録した情報に基づいて、買い手に対して取引の代金の振り込み先と振り込み期限を示す情報を送信し、所定の期限内に所定の代金が振り込み先に振り込まれない場合には、決済カードから代金を引き落とすようにしたので、買い手は商品が手許に届いてから支払いをすることが可能となり、一方、売り手は決済カードをいわば担保とすることにより取引の安全を図ることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の動作原理を説明する原理図である。

【図2】

本発明の実施の形態の構成例を示すブロック図である。

【図3】

売り手のサーバにおいて商品を購入し、代金の支払い方法を決定する際に表示される画面の一例である。

【図4】

取引内容を確認するために、取引支援装置から買い手のクライアントに対して送信される電子メールの一例である。

【図5】

図 4 に示す電子メールにおいて、取引内容が正しい場合に対応する URL がクリックされた場合に、買い手のクライアントに表示される画面の一例である。

【図 6】

図 5 に示す画面に続いて表示される、会員または非会員の別を指定するための画面の一例である。

【図 7】

図 6 に示す画面において、非会員を選択した場合に表示される、会員登録を行うための画面の一例である。

【図 8】

図 7 に示す画面において、会員登録が終了した場合に表示される画面の一例である。

【図 9】

図 8 に示す画面が表示された後に、取引支援装置から買い手のクライアントに対して送信される、代金の振り込み口座と、振り込み期限とを通知する電子メールの一例である。

【図 1 0】

宅配業者の配達員が有する端末に表示される画面の一例である。

【図 1 1】

支払い期限を徒過した場合に取引支援装置から買い手のクライアントに対して送信される電子メールの一例である。

【図 1 2】

図 6 に示す画面において、会員を選択した場合に表示される、会員番号とパスワードを入力するための画面である。

【図 1 3】

買い手に会員番号とパスワードとを通知する画面の一例である。

【図 1 4】

図 1 2 に示す画面において、会員番号とパスワードを入力した後に、表示される画面の一例である。

【図 1 5】

登録以外住所へ配達する場合の画面の表示例である。

【図 1 6】

売り手のサーバから取引の仲介依頼があった場合に取引支援装置において実行される処理の一例を説明するフローチャートである。

【図 1 7】

内容確認メールに添付されている URL がクリックされた場合に実行される処理の一例を説明するフローチャートである。

【図 1 8】

取引支援装置が宅配業者のサーバに対して、商品の宅配を依頼する場合に実行される処理の一例を説明するフローチャートである。

【図 1 9】

初回の利用時において、宅配業者の配達員の端末装置から決済カード番号が宅配業者のサーバを経由して伝送されてきた場合に実行される処理の一例を説明するフローチャートである。

【図 2 0】

取引支援装置が買い手からの代金の支払を確認する場合に実行される処理の一例を説明するフローチャートである。

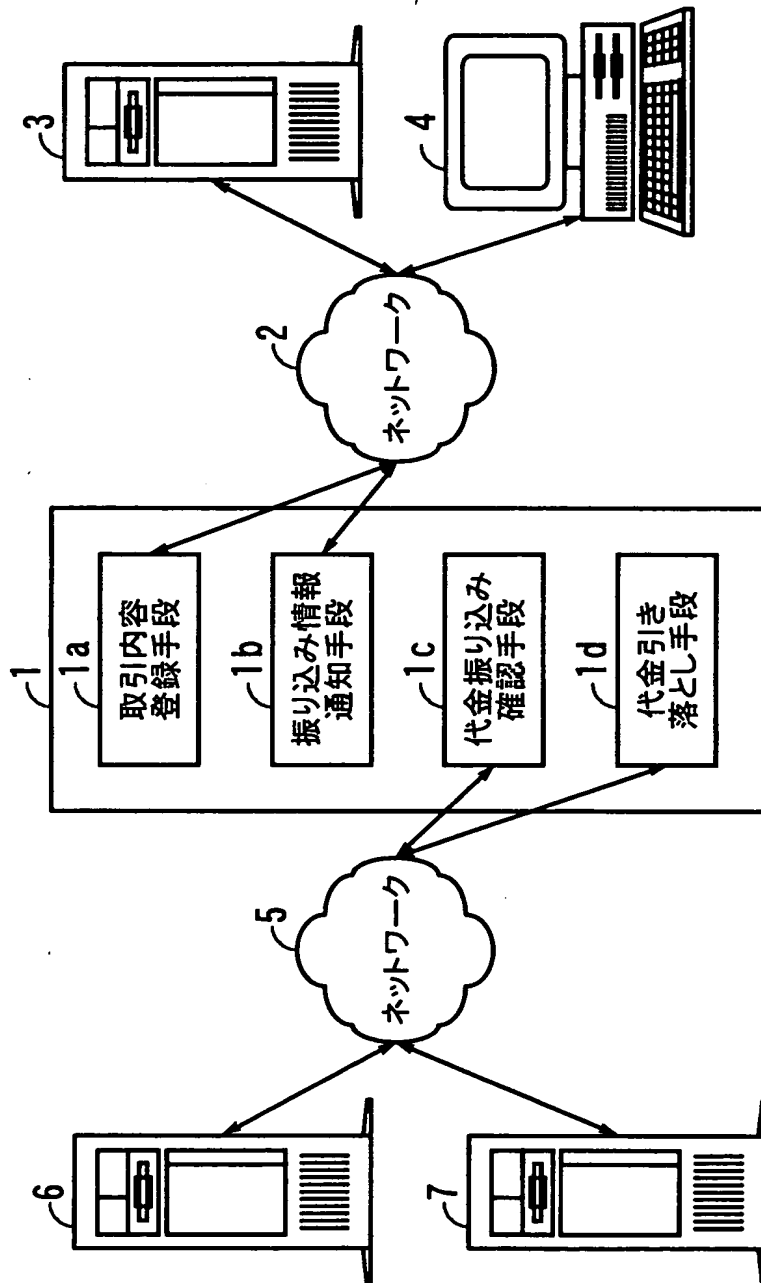
【符号の説明】

- 1 取引支援装置
 - 1 a 取引内容登録手段
 - 1 b 振り込み情報通知手段
 - 1 c 代金振り込み確認手段
 - 1 d 代金引き落とし手段
- 2 ネットワーク
- 3 売り手のサーバ
- 4 買い手のクライアント
- 5 ネットワーク
- 6 銀行のサーバ
- 7 決済カード会社のサーバ

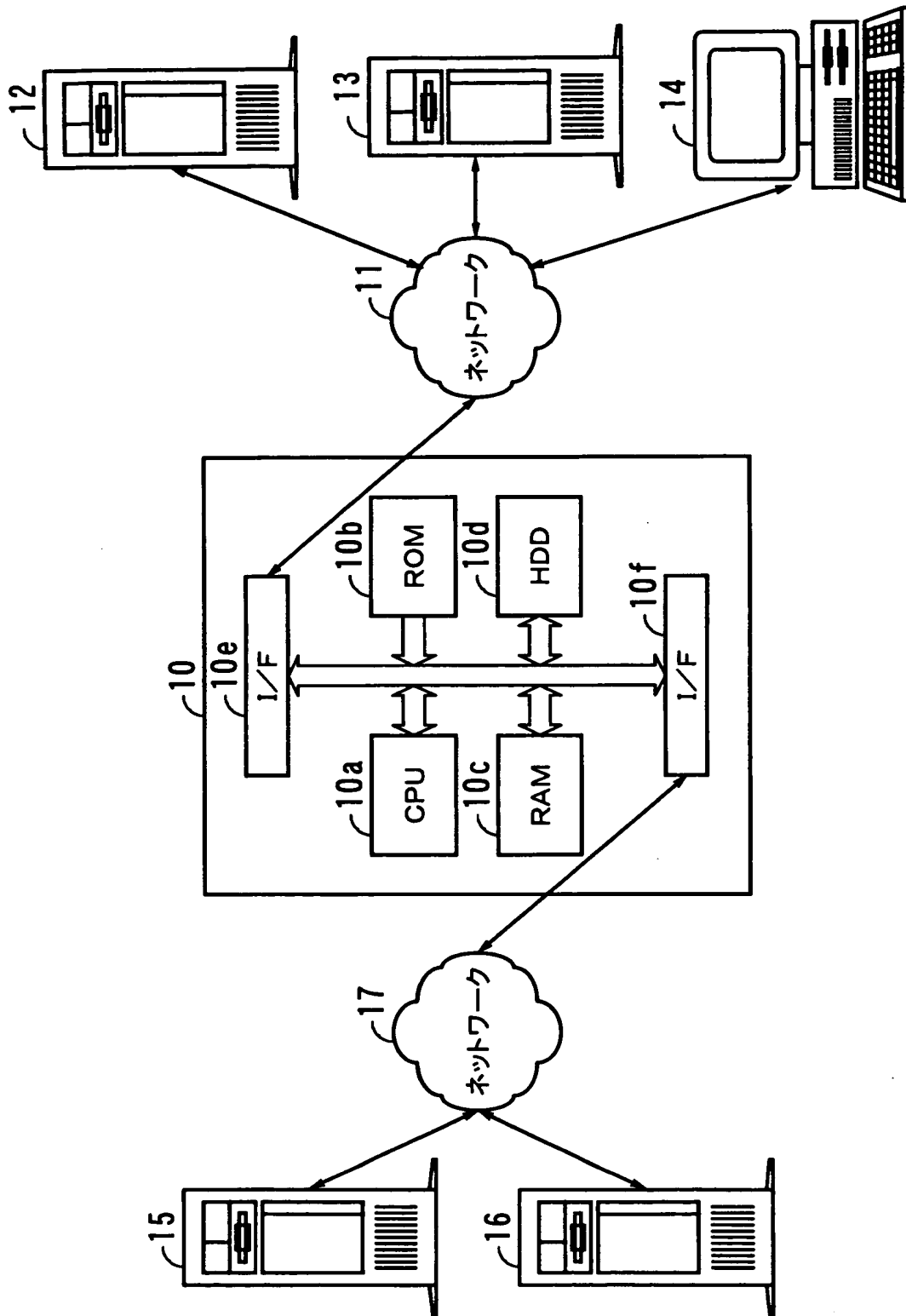
- 10 取引支援装置
 - 10a CPU
 - 10b ROM
 - 10c RAM
 - 10d HDD
 - 10e, 10f I/F
- 11 ネットワーク
- 12 売り手のサーバ
- 13 宅配業者のサーバ
- 14 買い手のクライアント
- 15 銀行のサーバ
- 16 決済カード会社のサーバ
- 17 ネットワーク

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】



【図 3】

20

Internet Shopping
ホームページ

お買いあげありがとうございます。
下記より入金方法を選択してください。

☐ 銀行振り込み 表題をクリックすると

☐ 代金引換 それぞれの特徴が

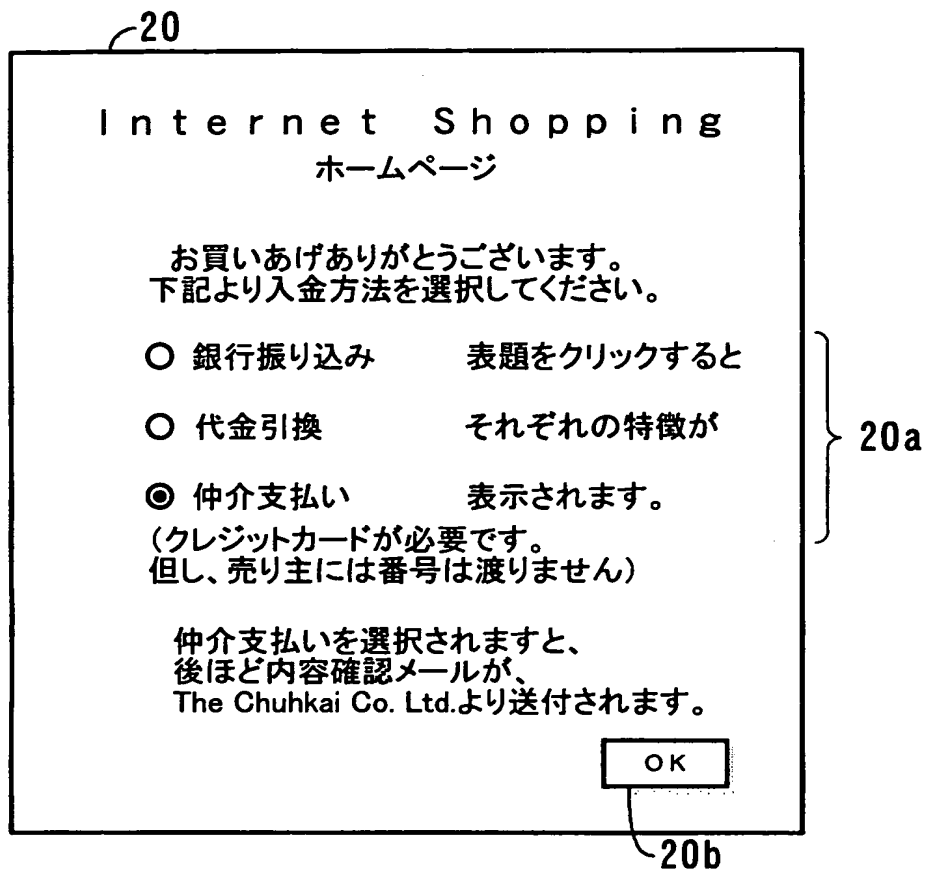
☒ 仲介支払い 表示されます。
(クレジットカードが必要です。
但し、売り主には番号は渡りません)

仲介支払いを選択されますと、
後ほど内容確認メールが、
The Chuhkai Co. Ltd.より送付されます。

OK

20a

20b



【図4】

The Chuhkai Co. Ltd. の仲介システムをご利用いただきありがとうございます。品物を先に購入でき、しかも手数料も銀行振り込み手数料のみと画期的なシステムとなっております。今後ともよろしくお願いします。

お客様の取引内容

取引番号:2000-08-20-0001

売り手:○×パソコン(株)

ご購入される品物

(1)デジタルビデオカメラDV10 ￥112,000

(2)パーソナルコンピュータPC20 ￥240,000

消費税 ￥17,600

合計 ￥369,600

上記内容で間違いがないようでしたら、下記のURLをクリックしてください。お客様専用のページにご案内致します。なお、その際、パスワードとして以下の文字列をご利用下さい。

SDFJOJ12

<http://www.chuhkai.com/touroku/>

間違いがある場合には、この番号を破棄し、販売会社へ連絡させていただきますので、下記URLをクリックし、次の文字列をキーワードとしてご利用下さい。
FSDFOHOJ

<http://www.chuhkai.com/kaijo/>

このたびは、私どものシステムをご利用いただきましてまことにありがとうございました。

【図 5】

30

Internet Register
Chuhkai

ご利用ありがとうございます。
お客様の取引番号とパスワードを入力下さい。

取引番号 30a

パスワード 30b

30c

【図 6】

40

Internet Register
Chuhkai

会員または非会員の別を入力してください。

☐ 会員 40a

☒ 非会員 40b

40c

【図 7】

50

Internet Register
Ch u h k a i

以下の必要事項をご記入下さい。

名前 50a

住所 50b

電話番号 50c

ご使用決済カード名 50d

カード番号 50e

(入力はずしも必要ありません。
未入力の場合は、初回配達時に
番号を頂きます。)

50f

【図 8】

60

Internet Register

Chuhkai

登録が完了しました。配達時には、お客様の
認証をさせていただきますので、ご指定
の決済カードをご用意してお待ち下さいま
すようお願いいたします。
なお、二回目以降は、決済カードのご用意
は不要となります。
ありがとうございました。

OK

60a

【図 9】

このたびはご利用ありがとうございます。
取引番号2000-08-20-0001の商品に
つきましては、8月30日に、発送する予定です。
なお、商品が到着しましてから、1週間以内に以下の指
定口座に代金の振り込みをお願いいたします。

口座名：
△○銀行新宿支店
普通口座 123456

代金：
¥369,600

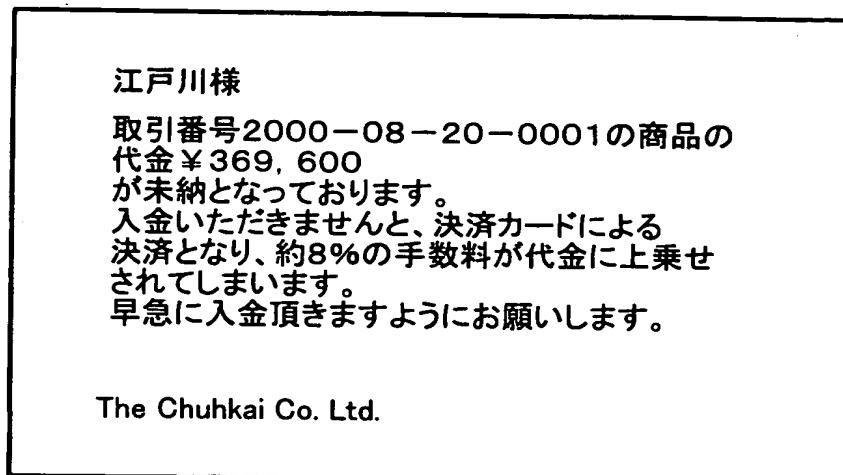
なお、1週間を過ぎてご入金のない場合には、決済
カードにての引き落としとなり、決済カード会社の
手数料(購入代金の8%)がかかることをご承知お
き下さい。

The Chuhkai Co. Ltd.

【図10】



【図11】



【図 12】

70

Internet Register

Chuhkai

会員番号とパスワードを入力してください。

会員番号 70a

パスワード 70b

70c

【図 13】

75

Internet Register

Chuhkai

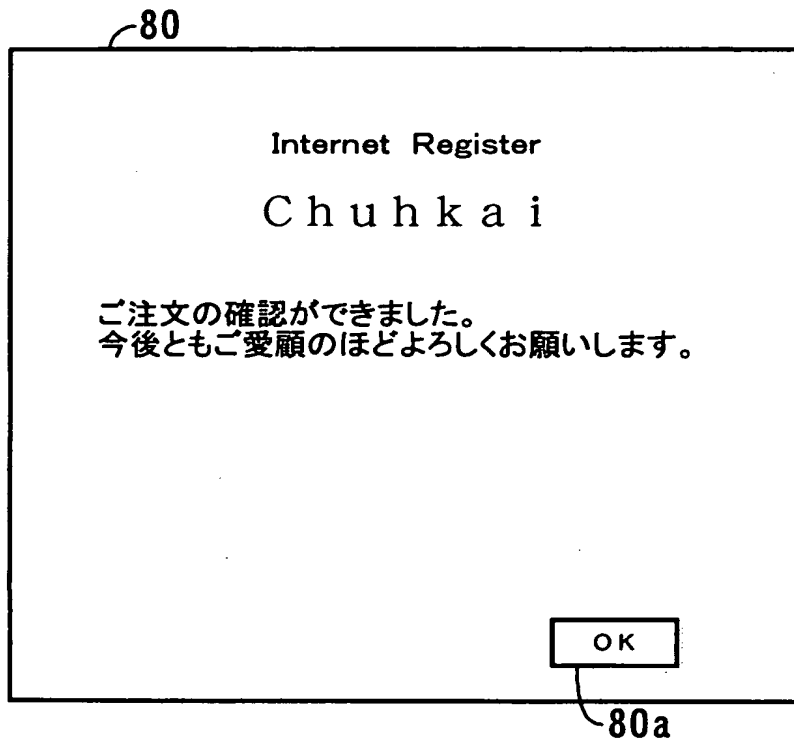
Chuhkai.comをご利用頂きありがとうございます。
 お客様を会員（無料）として登録させて頂きました。次回より、下記の情報を入力して頂きますと手続きが簡単になります。メモをして大切に保管してください。
 また、ファイル保存ボタンを押して頂きますと、
 会員番号とパスワードの書かれたファイルをテキスト形式で任意の場所に保存できます。

会員番号: 654321

パスワード: ABCDEF

75a 75b

【図 1 4】



【図 1 5】

77

Internet Register

Chuhkai

会員様には、2回目の取引以降、
任意住所へのお届けをさせて頂いております。下記に入力
下さい。

届け先

77a ○ 会員登録住所

77b ● 登録以外住所

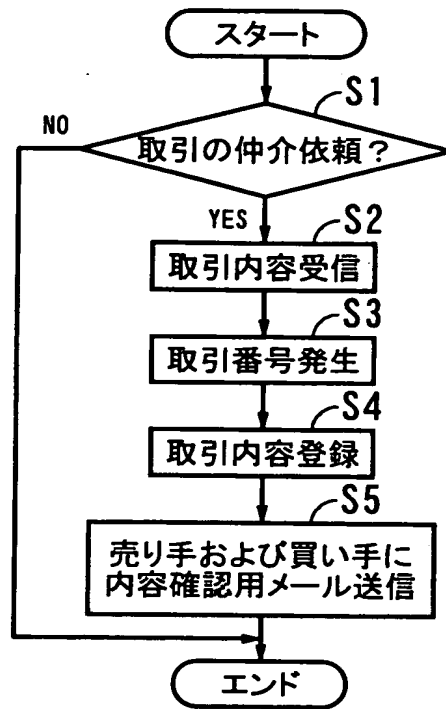
名前 江戸川 三郎 77c

住所 東京都渋谷区〇〇〇 77d

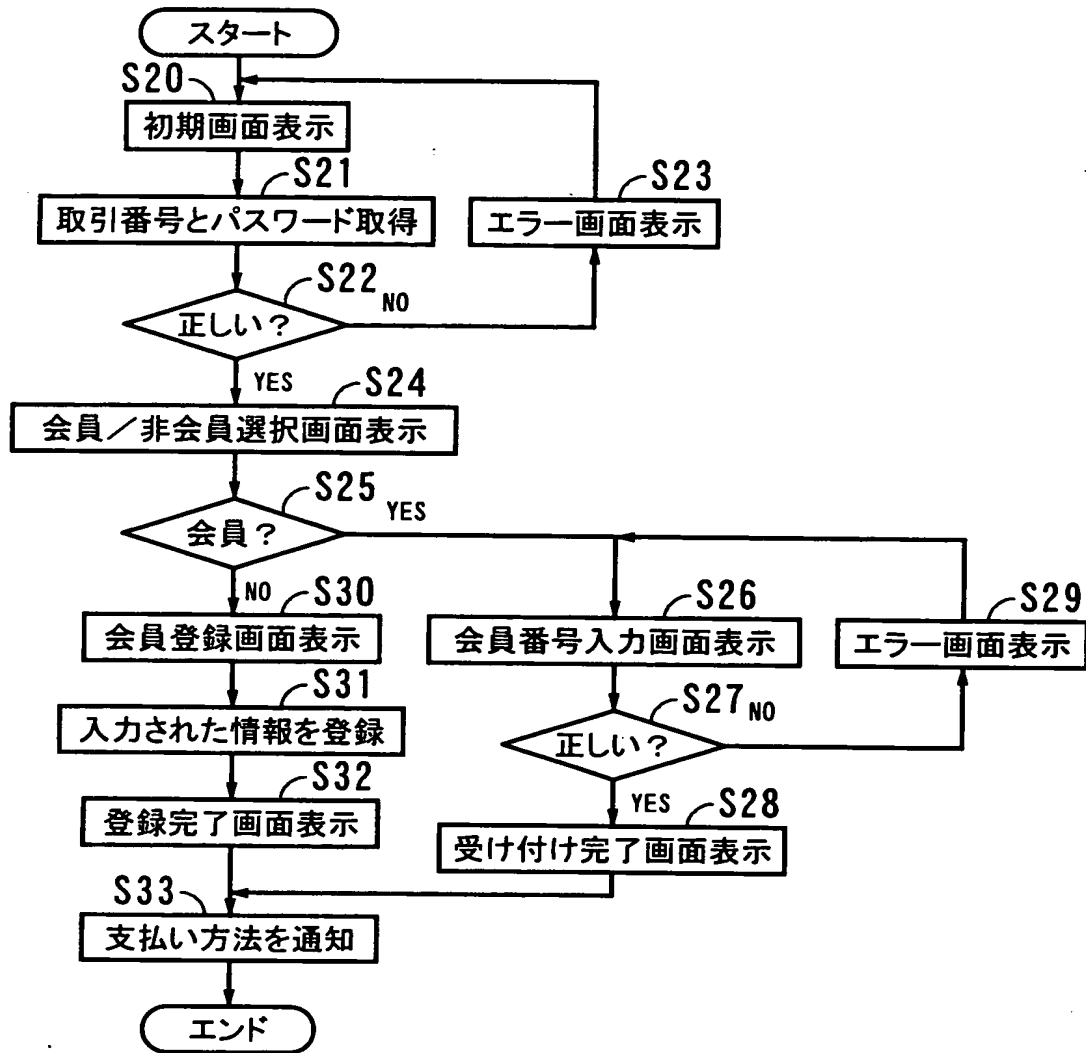
電話番号 03-5678-1234 77e

OK 77f

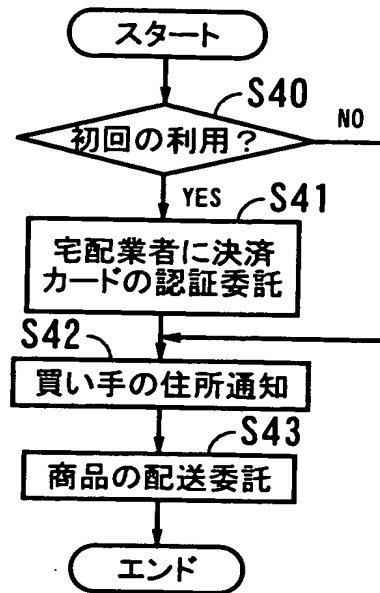
【図 1 6】



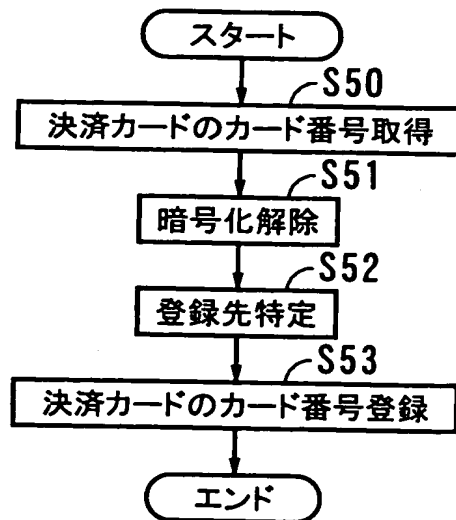
【図 17】



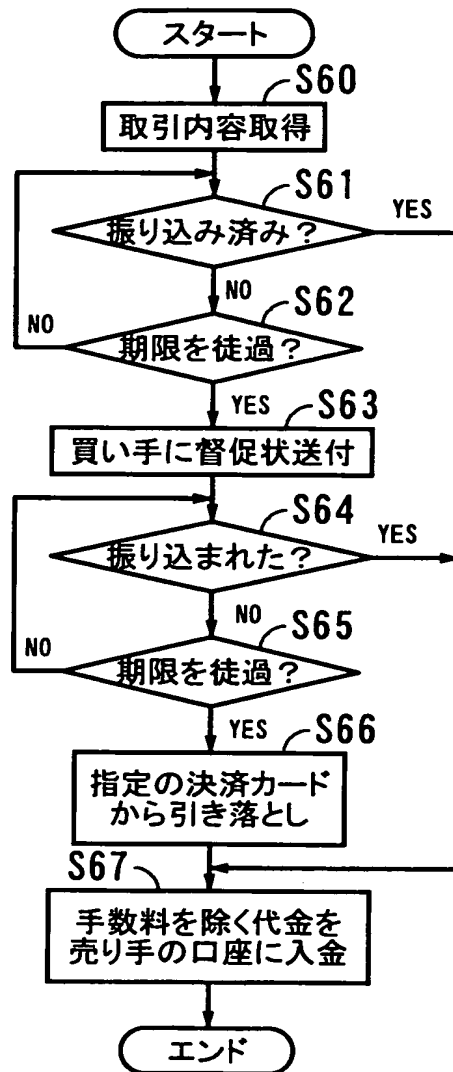
【図 1 8】



【図 1 9】



【図 2 0】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネットにおける取引に係る代金の支払いを安全にしかも確実に
行う。

【解決手段】 買い手のクライアント 4 が売り手のサーバ 3 にアクセスして所定
の商品を購入し、取引支援装置 1 を利用して代金を支払う手続きを行った場合に
は、取引内容が取引支援装置 1 に通知される。取引支援装置 1 の取引内容登録手
段 1 a は通知された取引内容を登録する。振り込み情報通知手段 1 b は、登録内
容を参照し、代金の支払い先の口座と支払い期限とを電子メールにて買い手のク
ライアント 4 に通知する。買い手が所定の期限内に支払先の口座に代金を振り込
まなかった場合には、代金振り込み確認手段 1 c が銀行のサーバ 6 にアクセスし
てこれを検知し、代金引き落とし手段 1 d が決済カード会社のサーバ 7 にアクセ
スし、買い手の名義で代金を引き落とす。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名 富士通株式会社